

事務局だより

この辺の平野部もそろそろ紅葉の時期となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今年度もすでに下半期に入り 1 ヶ月を経過しようとしています。これまでのクラブの活動は、定例会への参加者が極めて少なく寂しい状況であるということを除けば例年と特に変わった事はありませんが、まずは上半期の活動を振り返ってみたいと思います。また併せて今後の活動予定等についてお知らせ致します。

平成 16 年度上半期の活動

期日・曜日	事業名	会場
H16. 4. 5(月)	平成 16 年度総会	中田町農環改
H16. 5. 5(水)	定例会 役員会(平成 16 年度事業執行等について) フォックスハンティング実行委員会	〃
H16. 5.30(日)	第 32 回フォックスハンティング	宝江公民館
H16. 6. 5(土)	定例会	中田町農環改
H16. 7. 5(月)	定例会	〃
H16. 8. 5(木)	定例会	〃

* 9・10月の定例会は流会でした。

第 32 回フォックスハンティング … 日程変更も効果なく参加チームは 8 チーム

この行事は例年、6月の第2日曜日に開催することが慣例となっていました。その日は宮城県内各地で防災訓練が行われるなどのため都合がつかない方もいるのではないかと。ということで、今回初めて日程を変更して開催されました。しかしながら、蓋を開けてみると参加数は 8 チーム・10 人に留まり、残念ながら日程変更の効果は認められませんでした。8 チームの内訳は、1 エリアから 5 チーム、クラブ員チーム 2 チーム、クラブ員以外の地元チーム 1 チームとなっており、クラブ員と地元のアマチュア無線家の参加が極めて少ない状況でした。このままでは今後の開催が難しくなるのではと考えさせられます。対策としては、まずはクラブ員の参加を促進するために機材整備についてクラブとして取り組むことなどが考えられますが、会員の皆さんいかがでしょうか？ 「フォックスハンティングなんて興味ないよ・つまらないよ」ということであれば無理に続けることもないんでしょうが、筆者自身はとても面白いと感じていますので、これから一人でも多くの皆さんと楽しく遊びたいと希望する次第です Hi。



下の写真は競技開始前のハンターの様子等



結果は下表のとおりです。2匹のFOXを発見出来たのは1チームのみであったため、急きょ変則ルールで1匹のみの発見チームにも順位が付けられました。FOXがかなり厳しい場所にいたためハンターの多くはギブアップとなってしまったようです。

順位	チームメンバー	FOX 1 発見時刻	FOX 2 発見時刻	所要時間 (分)
1	JG1UZ F	12:14	11:12	134
2	7M4GHH	-	11:43	103
3	JF7GEQ, JE7SRU	12:14		134
	JJ7HFP			
	JR7SWL, JE7JYF			
	JS1GVY			
	JE1WKW			
	JP1GAL			

平成16年度下半期の活動予定

今年度下半期の予定は下表のとおりとなっています。

恒例になっていました年末年始にかけてのマラソンコンテストは、参加局がほんの数局で、クラブ員のアクティブティも非常に低い状況が続いたため今年度は行わない事となっています。従って下半期の行事としては親睦会と技術講習会ということになります。

親睦会につきましてはこの事務局だよりと一緒に案内を送付しておりますのでそちらをご覧の上是非ご参加下さい。また、技術講習会につきましては、何をやるかは今のところ白紙です。ご意見・ご希望や面白い企画(案)等がございましたら事務局までお寄せ下さいますようお願い致します。

期日・曜日	事業名	会場
H16.11.6(土)	親睦会(移動定例会)	割烹鹿野
H16.12.5(日)	定例会	中田町農環改
H17.1.11(火)	定例会	未定
H17.2.5(土)	定例会・技術講習会1	中田町農環改
H17.3.5(土)	定例会・技術講習会2, 役員会	〃

(注意) 11月5日及び1月5日は定例会を行いません。

県内アマチュア無線家 防災対応の動向

先月の河北新報にアマチュア無線愛好家による防災対応型NPO法人設立の記事が掲載されていました。趣味の範囲を超えた本格的な取り組みのようです。

発行

巻数

平成16年(2004年)9月6日(月曜日)

仙台・泉の
アマ無線愛好会

災害対応型NPO設立へ

宮城県沖地震の発生が高い確率で予想されていることから、「無線愛好家と連携し、各地の被害状況の確認などで役立てられないか」と災害支援活動に乗り出すことになった。一九九五年一月の阪神大震災で、通信手段の確保やボランティアの重要性を知ったこともきっかけになった。

県にNPO法人の認証申請を予定しているのは「宮城防災アマチュア無線クラブ」。愛好会の会員二十六人で設立する。

災害時の人命救助や情報伝達を無線で支援しようと、仙台市泉区に活動拠点を置くアマチュア無線愛好会「仙台チューニングDXクラブ」が、特定非営利活動法人(NPO法人)の設立準備を進めている。地震など災害対応型のアマ無線NPOは県内初。愛好家のネットワークを生かし、地震災害などで通信手段の確保に取り組む。

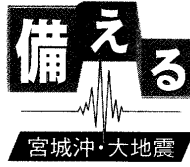
情報伝達無線で支援

無線機は停電や電話回線の断絶しても、車のバッテリーシステムもあり、詳細な情報のやりとりが可能だ。「交通が寸断されても、会員が携帯型無線を持って近くの被害状況を確認し、報告できる」(愛好会メンバー)と機動力に自信を見せる。

停電時も機動力発揮 各地の被害状況確認に力

や無線用太陽光発電装置で電源を確保できる。パソコンに接続して画像を送信するシ

NPO法人代表を務める予定の菅井修さんは「災害発生時、復旧作業に追われる消防や警察などに代わって通信手段を確保するなど、サポート態勢を確立したい」と狙いを話す。



NPO法人設立後、活動に賛同する県内のアマチュア無線愛好家を募集し、災害対策用のマニュアルも作る予定にしている。

古川クラブは平成16年3月21日に「大崎非常通信ボランティア」を創設しました。当クラブにも案内がありました。

古川クラブではその趣旨について「(災害時に)個人局及びクラブ局の相互リンクにより効率的・効果的に情報の伝達を行い、私達アマチュア無線家と行政・自治体・他団体とのリンクにより災害時の早期復旧を目指し、情報提供協力を行政等に行ってゆきたいと思えます。なお災害時には必ず参加を呼掛けるものではなく、出来る範囲内での協力を頂くものです。有志各局及び各クラブ局の協力者を募集していますので、大崎地域以外の方でも歓迎します。アマチュア無線家でバイク等の趣味をお持ちの方は是非協力お願い致します。」とコメントしています。

現在、協力・連携団体は5団体(南郷非常通信ボランティア, 仙台市職員アマチュア無線クラブ, 気仙沼アマチュア無線クラブ, 宮城レスキューサポートバイクネットワーク, 東日本パイロット協会), 個人の登録メンバーは86名となっているようです。詳細は古川クラブのホームページをご覧ください。

<http://www.h6.dion.ne.jp/ja7yzo/index.htm>

連絡先は

〒989-6221 宮城県古川市大宮7-5-5 福地孝 様 電話: 0229-24-4123

(福地さんは古川クラブの会長でコールサインはJA7TTUです。)

災害は忘れたころにやってくる，などと言われますが，最近は頻発しているような気がしますいかがでしょうか？ 10月23日（土）には新潟県信越地震があり大きな被害が出たばかりです。

さて，私たちが最も気になるのは近い将来発生するとされる宮城県沖地震についてではないでしょうか。宮城県総務部危機対策課震災対策班のホームページに情報がありますので一度ご覧になることをお勧め致します。ほんの一部ですが以下に示します。

- ・地震発生確率（2003年6月1日から）
 - 10年以内の発生確率（2013年：平成25年）・・・ 39%
 - 20年以内の発生確率（2023年：平成35年）・・・ 88%
 - 30年以内の発生確率（2033年：平成45年）・・・ 99%
- ・予想震度（震度分布図より） 5強～6弱（登米郡内）
- ・液状化危険度（液状化危険度分布図より）
郡内のかなりの地域（中田・迫・石越など）が「極めて高い」とされている。


アマチュアとは

最近では携帯電話やパソコンの影響か，アマチュア無線を始める人は少なく，また，せっかく開局したのに局免許の更新をしないまま閉局し，アマチュア無線界から去って行く方が多いようです。アマチュア無線が「趣味の王様」と言われたのは今や幻になったのでしょうか。

原点に立ち返り，アマチュア無線を始めた頃の心持を，今再び思い出してみたい気がします。

右の新刊紹介は日経パソコン468号のものです。こんな本を読んでアマチュア精神を思い起こすのはいかがでしょうか。

Books **新刊** アマチュア科学者の底力と魅力



偉大な、アマチュア科学者たち
ジョン・マローン著
石原真訳、山田五郎監修
主婦の友社
1575円

本書は、そのようなアマチュア科学者達に焦点を当てた読み物だ。登場するのは、メンデルの遺伝の法則で有名なグレゴール・ヨハン・メンデル(本業は修道院の司祭)、電磁気のファラデーの法則を発見したマイケル・ファラデー(製本職人)といった有名どころから、近代考古学の父であるトーマス・ジェファソン(もちろんアメリカ合衆国大統領)、あるいは静止通信衛星の考案者アーサー・C・クラーク(「2001年宇宙の旅」で有名なSF作家)といった「え、あの人が」と思わせる計10人。これら偉大な業績を挙げたアマチュア科学者の業績と人生がコンパクトにまとめられている。文章は平易で、量も多くないので気楽に通読できる。本嫌い、科学嫌いにも薦められる本だ。

科学の本質は別に難しいものではない。未知を未知のままとせずに「あれが知りたい、これが知りたい」と子供のように目を輝かせる精神なのだ。「科学は難しい」と思っている人、あるいは「水にありがとうの念を送るときれいに結晶する」に代表される、世間に流布する似非科学的言説にコロっとだまされている人は必読である。

(松浦 晋也=ノンフィクションライター)

CW

40代後半に入ってから始めたCW。3年近く経ちますが相変わらず初心者レベルです。それでも不思議な魅力に取り付かれ、ほぼ毎日交信しています。レポート交換だけの交信も多いのですが楽しんでいきます。 --- CWはクセになる! ---

事務局 三浦明彦 (JA7IUX)

〒987-0602 中田町上沼字大泉門畑 55-1

ホームページ: <http://www.jarl.com/tome/>

E-mail: ja7iux@jarl.com

TEL: 0220-34-4986